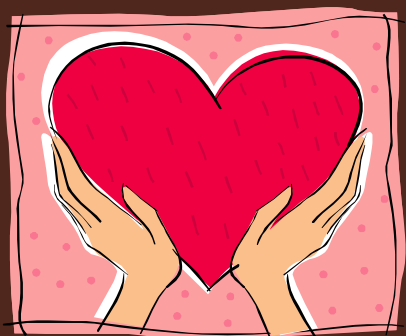


地域での人と人とのつながりの大切さ

～ 認知症地域支援体制構築等推進事業で学んだこと～



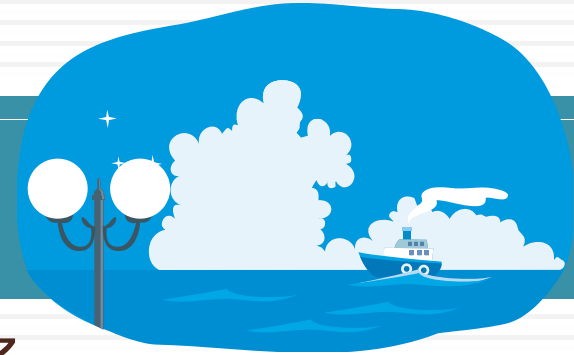
気仙沼保健福祉事務所

成人・高齢班

技師 斎藤 絵美(保健師)

気仙沼で認知症のネットワークづくり やってみない？

2



平成18年度 気仙沼に勤務して1年目の冬。
長寿社会政策課から電話がありました。
現在実施している「認知症専門ケアサポート事業」を活かして、
管内のモデル市町、認知症ケア実践者の方々と、国のモデル事
業に取り組んでほしい、ということでした。

なぜ気仙沼が選ばれたの？

国のモデル事業では「**認知症サポート医**」の存在が重要です。
気仙沼管内には県内最初の「**認知症サポート医**」がいます！

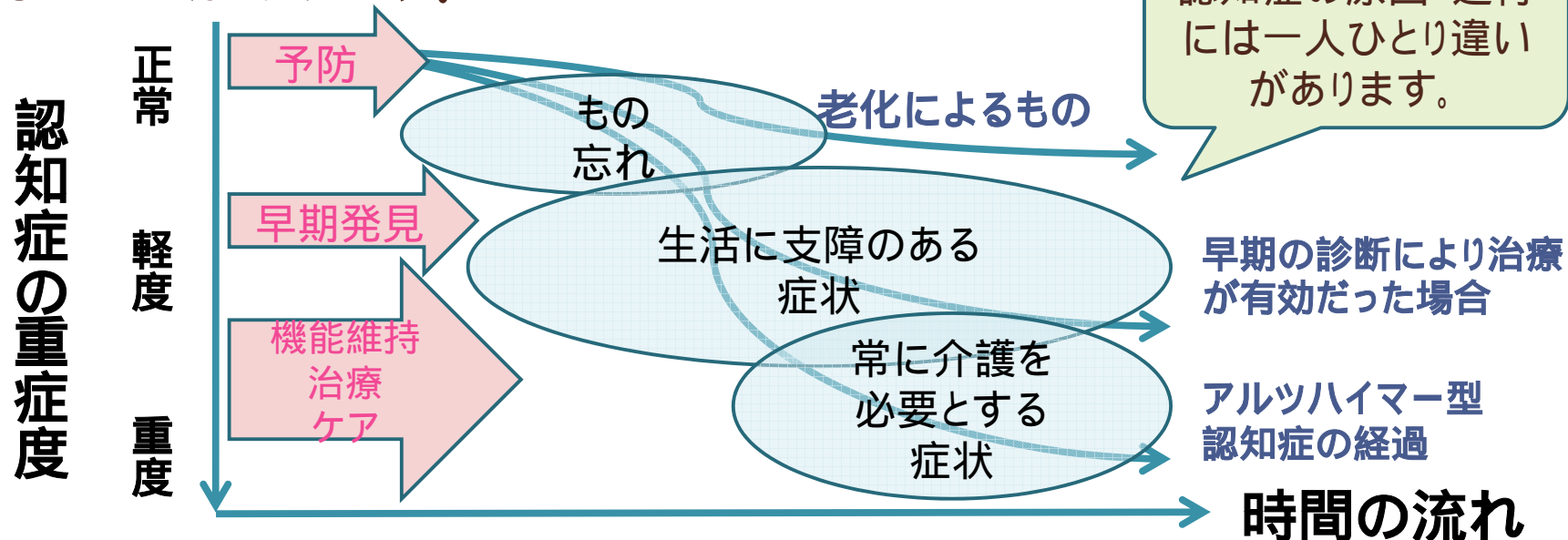
認知症ってどんな病気？

ご存じ
ですか？

3

「認知症」は、正常であった脳の知的な働き（理解・判断・記憶等）
いろいろな病気によって、持続的に低下した状態のことです。

早期に治療を開始することで、症状が軽減したり、進行が緩やかになることがあります。



保健・医療・福祉を含む生活全体をサポートする体制が必要です。



まずは現状把握から！

気仙沼管内の高齢者の現状

平成20年3月末現在

市町名	総人口(人)	65歳以上の人口(人)	65歳以上の割合(%) * 高齢化率	一人暮らし高齢者数(人)	在宅高齢者のうち、一人暮らし高齢者の割合(%)
気仙沼市	65,225	18,604	28.5	2,446	13.1
本吉町	11,456	3,342	29.2	285	8.5
南三陸町	18,285	5,223	28.6	425	8.1
管内合計	94,966	27,169	28.6	3,156	11.6
宮城県 総計	2,334,874	495,463	21.1	69,389	14.0

宮城県高齢者人口調査より

要介護認定調査における「認知症高齢者の日常生活自立度」から見る

気仙沼管内の認知症高齢者の現状

平成20年12月末現在

市町名	介護保険 認定者数	介護保険認定者のうち 認知症が疑われる 高齢者数(人)	介護保険認定者のうち 認知症が疑われる 高齢者割合(%)
気仙沼市	2,670	1,633	61.1
本吉町	543	357	65.7
南三陸町	734	410	55.8
管内計	3,947	2,400	60.8

気仙沼保健福祉事務所調べ



介護保険認定者の半数以上の高齢者が、認知症に対するサポートを必要としています。

認知症ケア専門サポート事業について

宮城県全圏域で実施しています！

6

ねらい

認知症を早期に発見し、適切な対応をすることで、認知症高齢者家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう身近な相談窓口である市町等を支援する。

内容

認知症専門相談
精神科医による相談会



**認知症ケア調整
専門サポート**
専門職チームによる検討会

3本柱の事業

認知症ケア研修会
市町職員、介護スタッフ、
民生委員等への研修会

認知症ケアサポート事業を実施して いて気になっていたこと

どのように
解決して
いこうか…

認知症専門相談

認知症がだいぶ進んでから相談につながる方が多い。
早期に支援できるようになるにはどうしたらいい？

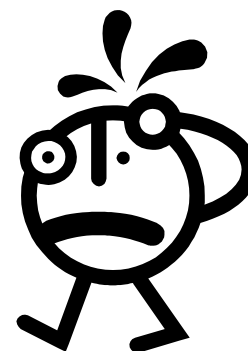
認知症ケア調整サポート(事例検討会)

介護が大変なことばかりに目がいきがち。
まずは本人が何を求めているか、知ろうとしてるかな？

認知症ケア研修会

認知症について勉強したいと思っている住民、スタッフがたく
さんいる。関心の高い方同志のつながりを深めるには？

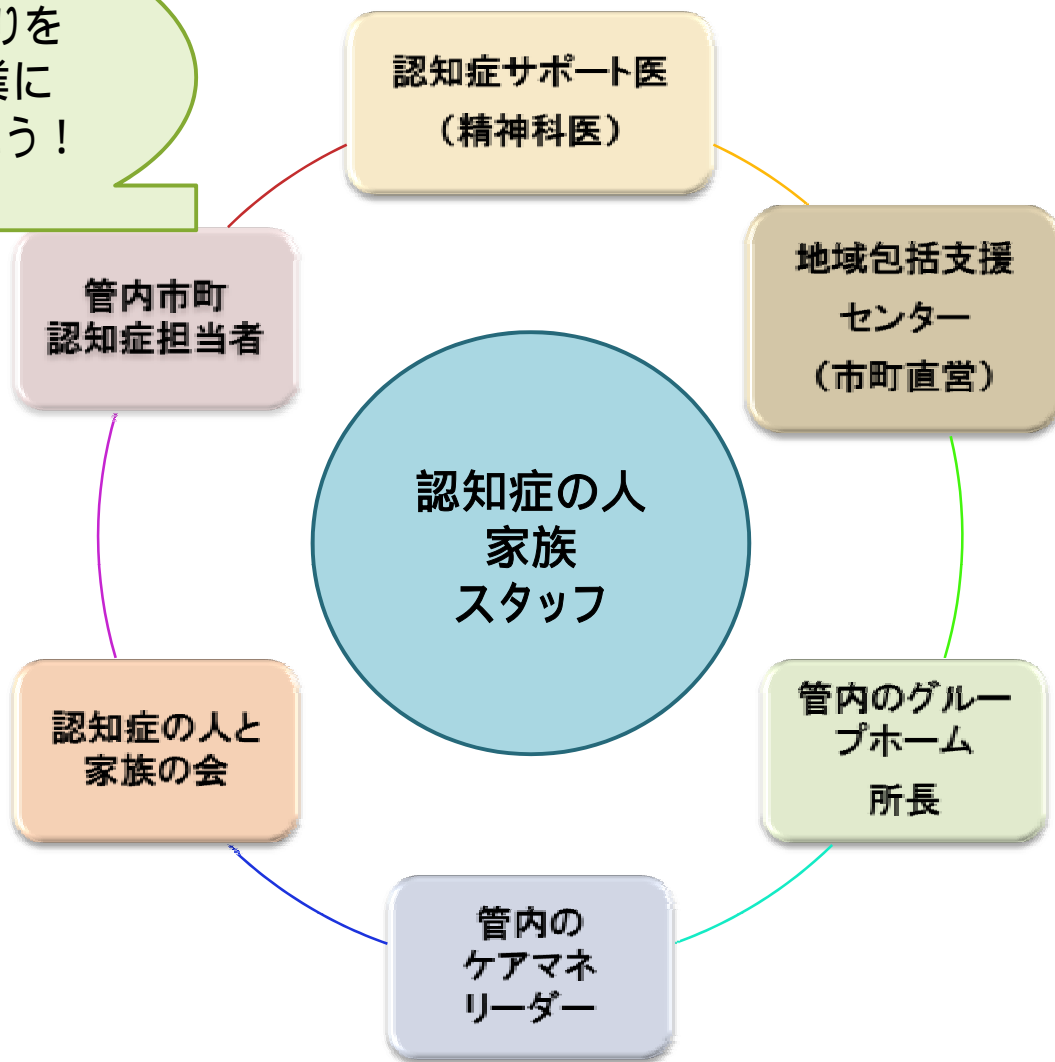
市町の相談体制充実のために、県は何かができるのだろうか…？



認知症ケア専門サポート事業のつながり

8

このつながりを
モデル事業に
活かしていこう！



国のモデル事業を実施すると・・・

9

認知症ケア専門サポート事業



認知症地域支援体制構築等推進事業

認知症専門相談

認知症ケア調整
サポート(事例検討会)

認知症ケア研修会

認知症ケア専門サポート
事業(継続)

認知症ケアコーディネート
推進会議(新)

認知症ケアコーディネーター
の派遣(新)

認知症地域資源マップの
作成(新)

モデル市町の支援(新)

このチャンスを最大限活用しよう!

モデル事業開始時に大切にしたこと

事業のイメージ
を作成し、説明
すると効果的！

上司
同僚

所内での体制づくり

どんな事業？ 予算は？ 担当の負担は？
地域の現状を共有し、事業を理解してもらうこと。

県と
委託

気仙沼市(モデル市町)との協力体制づくり

事業の必要性を共有し、役割分担しながら進めること。
サポートすることを約束！

知事
委嘱

認知症ケアコーディネーターとの協力関係づくり

地域の現状をよく知る実践者の方からの協力が不可欠！
ということを理解していただく。

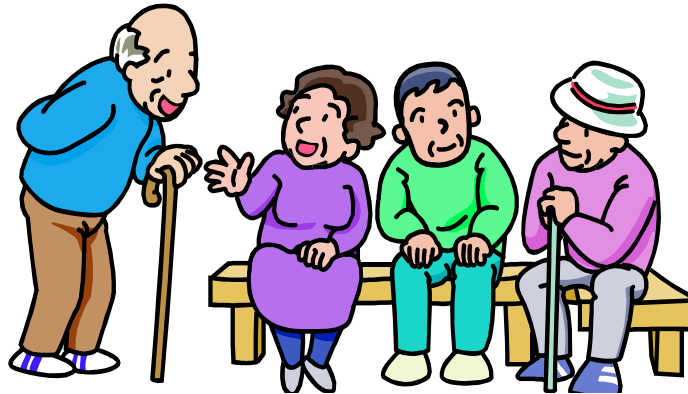
気仙沼でのモデル事業のキーワード 「あんべいい」

11

認知症の人がもっと
安心して暮らせる地域づくり

温かい目で見
守ってほしい
接してほしい

家族にはできる
だけ迷惑を
かけたくない



自分の家でずっ
と暮らしたい

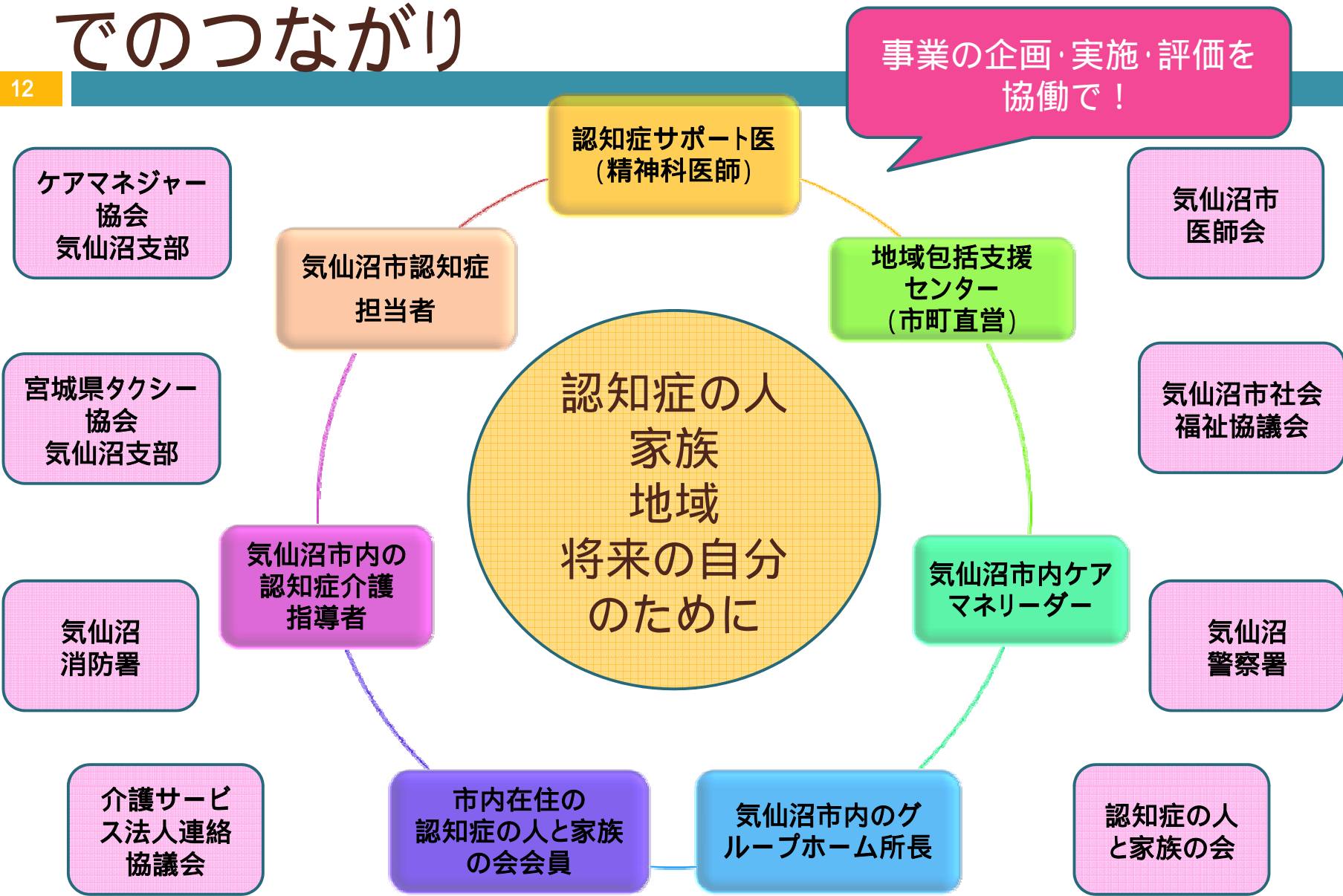
親しい人と
交流したい

高齢者が望んでいること

高齢者の希望する生活を実現するためには、家族の支えも必要！

認知症地域支援体制構築等推進事業 でのつながり

12



認知症の人と家族が安心して暮らせる地域に近づくために

13

気仙沼認知症ケアコーディネート推進会議より

現状

- 1 家族が認知症であることを隠そうとしてしまう。
- 2 地域住民もスタッフも認知症の人に対して誤解がある。
- 3 病院を受診していても、認知症は見逃されやすい。
- 4 介護の現場では、その場しのぎのケアが多い。
- 5 認知症になると外出の機会が少なくなる。



目指したい地域

- 1 家族が隠さずに支援を求められる。
- 2 認知症は病気と理解でき、やさしい対応ができる。
- 3 かかりつけ医が認知症に対応できるようになる。
- 4 関わる人みんなで、話し合い、ケアを高められる。
- 5 身近な所に安心して出かけられる場所がある。

初年度はわずか3か月間！

まずはこれからやってみよう！

住民の方に認知症を正しく理解してほしい！

自分や家族が認知症になった時に、相談できる所を知ってほしい！



< 実施した主な事業 >

気仙沼市では、モデル地区活動、認知症講演会を実施。
当所では、認知症地域資源マップの第一弾として、「認知症支援パンフレット」を作成。

認知症支援パンフレットの効果



34,000部作成
管内の全戸、市町、医療機関、
介護保険関係機関、警察署等
へ配布

パンフレットを片手に市の窓口へ相談する方がいた。

認知症サポーター養成講座のテキストとして利用できる。

「認知症」が大きく取り上げられ、一歩進んだ気がする。

認知症について知りたい情報が豊富に入っている。

みんなで意見を出し合って作った。取組が形になって残った。

当所ホームページからダウンロードできます！

もっと地域が求める 認知症地域資源マップを作りたい！

16

「認知症支援パンフレット」を持って、訪問活動を開始！

訪問期間：平成20年6月20日から9月17日まで

訪問機関・団体数：気仙沼市内の40機関・団体

(話を伺った人数122人)

訪問者 * 1～3人のチームで訪問。

認知症ケアコーディネーター4人

気仙沼市健康介護課職員

当所成人・高齢班職員

みんなで
聞きに行こう！

訪問活動に協力を得られた機関・団体が こんなにたくさんありました！



小学校

自治会

介護
サービス
事業所

介護タ
クシー

歯科
医院

薬局

中学校

認知症の
人と家族
の会

警察署
駐在所

郵便局

商工
会議所

ボラン
ティア

乳製品
訪問販売

医療
機関

ホテル

観光コン
ベンション
協会

高等
学校

高齢者を地域で支える力を発見！
この力をもっと引き出し、つながりを深めたい！

訪問活動で聞かれた声 その1

18

< 認知症の人への対応で、困ることはどんな事？ >

何度も同じ話を
する人にはどう接し
たらいいの？

家族に、心配だと話しても、
「まだしっかりしている」
と言われてしまう。

目を離している
うちに、いなくなっ
てしまった。

お客さんとして来た
とき、知らない人だ
と認知症かどうか
分からない。



一人暮らしの人を
どう見守っていけ
ばいいの？

冷蔵庫に同じ品物
がたくさん入ってい
るのにまた
買っている。

本人がなかなか
専門の病院に
行こうとしない。

夫婦で出かける時、
トイレやお風呂で
の声かけが難しい。

どこに相談でき
るのか、分からない。

訪問活動で聞かれた声 その2

19

< 認知症の人に対応する時に知ってほしいことは？ >

「認知症は病気」
という知識。

本人がどんな人
なのか、知って
いれば安心。

介護保険の申請
窓口。
介護サービスの
情報。

認知症について
相談できる所や
医療機関

介護について
お互いに
情報交換できる
グループ

本人の権利や財
産を守るための
制度

車イスでも利用
できる飲食店や
トイレなど

高齢者が安心し
て利用できる
旅館・ホテル



地域みんなが認知症を知り、地域にある資源の情報を
知ることができれば、お互いに支え合える！

訪問活動によるつながりを大切にしよう！



20

第2弾の認知症地域資源マップは、

「**気仙沼認知症地域資源マップ作成検討会**」を開催して作成します。



家族や地域の人
が使いやすい
マップづくりに
取り組んで
います！

< 検討メンバー >

気仙沼市観光コンベンション協会

気仙沼商工会議所

三峰病院

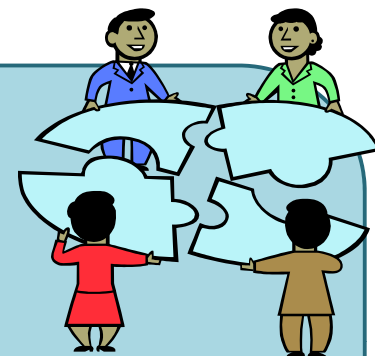
認知症の人と家族の会

認知症ケアコーディネーター（認知症介護指導者）

気仙沼警察署

気仙沼市

気仙沼地方振興事務所県民サービスセンター





モデル事業の取組を継続するために

21

気仙沼市の取組や成果を、他の町へ

< 管内市町認知症担当者会議の開催 >

現在の各市町の認知症対策について情報交換し、次年度の計画作りに役立てていただきました。

認知症対策への
関心アップ！

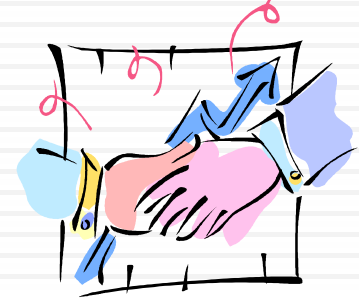
「認知症サポーター100万人キャラバン」事業

認知症サポーター養成講座開催の体制づくり

< 認知症キャラバン・メイト意見交換会の開催 >

管内市町の認知症担当者とキャラバンメイトとの意見交換会を設け、つながりを持つことができました。

キャラバンメイト
の活動を
バックアップ！



23

おわりに

今回、モデル事業では、認知症ケア実践者の方々、気仙沼市と共に企画・実施・評価することを経験することができ、県に求められていること(コーディネート)を意識しながら活動することができました。

また、訪問活動によって地域の力を発見し、顔見知りになることで、気仙沼市が多種多様な機関とのつながりを持つ支援をすることができました。

今後も「地域を見て・つないで・動かす」という意識を大切に、地域保健活動に取り組んでいきたいと思えます。

御清聴ありがとうございました

